読 者 0 声

[6月号 特集「コミュニティーフォレストリー」 /自 分たちの子のため、 人ごとではなく、 (または、 と考え、 (茨城県・女性・法人職 自分のため 知る)ことが大切だ 今後もこのテーマ を読んで /自分た

ちのため と改めて考えました。 できること、を各個人がやる ■今回の特集は、興味のある話題の一つでした。 高望みせず について興味を持ちます。 驚かされた。 震災後もくじけることなく、 んでいる宮城県仙 教諭をしていた折、 単に英語学習だけでなく、 台東高校のグローバルな教室づくりに 国際理解担当者として、 国際交流や国際理解教育に取 日々世界とつながる大切 諸外国が抱えて 諸外国 私も

剣に考える機会ができればと願っている。 の子どもたちと交流してきたが、 さを意識しながら懸命に勉強している姿に感心した。 いる問題をみんなで考え合ったり、 どこの学校にも取り入れられ、 こういった学習ができるだ 諸問題について直

峯野富也 (岐阜県・62 歳・ 男性

からの生活は しみて感じる 後の復興が諸外国からの支援に依るものだとわかってい 現在の、 そして文明による日常生活のもろさを痛感した。これ 「国際協力の経験を日本の復興へ」を読んで] やはり国際協力は、 地球規模、 しかしこの震災後 坂田恵(栃木県・3歳・女性・主婦) 必然の協力関係を こちらからの援助が大き 相互協力 一人一人が身に (おたがい様)

本誌へのご意見・ご感想や JICAへのご質問を お寄せください。

■今号は表紙からインパクトが強くて、

特集の中で、

験が被災地支援に生きたというのはすばらしいと思いま

ソーラーランタンのように途上国支援での

ぱっと手に取りまし

復興には日本の総力が必要と聞

きますが、

JIC

持つ専門性、

経験をぜひ活用し続けてもらいたいです

(島根県·22歳·女性·会社員)

プレゼント 付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対す るご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・ 電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の 上、お送りください。ご記入いただいた個人情報は統計処 理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。 当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切:2011年10月15日

Email: jica@idj.co.jp

FAX:03-3582-5745(『JICA's World』編集部宛)

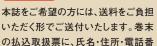
- ① エチオピア・コーヒー豆のストラップ
- ② 書籍『ルワンダに教育の種を 内戦を生きぬいた女性・マリールイズの物語』(p37参照)
- ③ 書籍『THANK YOU WORLD 世界の国旗と「ありがとう」』(p37参照)

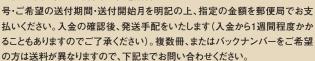




本誌をご希望の場合は 下記方法で お申し込みください。

申込方法





申 込 先 (株)国際開発ジャーナル社 業務部(発送代行) 住 〒107-0052 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル 所

Ε 03-3584-2191 Т L 03-3582-5745 A X Email order@idj.co.jp

次号予告(2011年10月1日発行予定)

世界第3位の原油埋蔵国であるイラク。ジャーナリスト・池上彰さん の現地取材報告とともに、イラクの現状とJICAの協力について紹 介します。



SEPTEMBER 2011 No.36

編集·発行/独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency: JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396 URL: http://www.jica.go.jp/ バックナンバーはJICAホームページ(http://www.jica.go.jp/publication/j-world)でご覧いただけます。 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。